

一般社団法人日本人間工学会第59回理事会 議事録

1.開催日:2022年2月21日(月) 18:00~20:10

2.開催場所:Zoomによる遠隔会議

3.出席理事:<敬称略>

・理事会構成員(27名・定足数14名以上)

(理事):吉武良治(理事長),下村義弘(副理事長,国際誌),青木洋貴(学術),石橋基範(総務),榎原毅(編集,国際誌),笠松慶子(財務),加藤麻樹(若手支援),辛島光彦(財務),狩川大輔(安全),小谷賢太郎(国際協力),境薫(若手支援),三林洋介(戦略ロードマップ),佃五月(企業活動),中川千鶴(総務),松岡敏生(広報),山田クリス孝介(広報,選管),横山清子(学術)

[17名]

(理事兼支部長):矢口博之(関東),久保博子(関西),斎藤真(東海),村木里志(九州・沖縄,編集,国際誌)

[4名]

[計:21名]

(欠席者):易強(企業活動),内野英治(中国・四国),鴻巣努(表彰),中本和宏(戦略ロードマップ),平沢尚毅(北海道),本多薫(東北)

・オブザーバー:佐藤洋(JENC),堀江良典(表彰),村田厚生(第63回大会長),八木佳子(認定機構)

・監事:青木和夫,大須賀美恵子

・事務局:西原彩,米倉裕美

※全員ネット会議出席者

4.議事概要

定足数14名を超える21名の理事の出席を得て理事会が成立したことを確認した後,定款に従い理事長を議長として議事を進行した。

【審議事項】

(1)第1号議案 2022年定時社員総会日程について(理事長)

吉武理事長より,2022年定時社員総会を2022年6月18日(土)に開催したい旨説明があり,承認された。開催時間とイベント内容についてはこれから検討する。イベント内容のご提案があれば教えて欲しい旨お願いがあった。開催形態はオンラインと現地のハイブリッド式を検討している。

(2)第2号議案 財務体質の健全化のためのタスクフォース(財務)

笠松財務理事と辛島財務理事より,資料を基に,学会の財務状況が赤字体質であることを改善するため,タスクフォースを立ち上げ意見交換をしたことの報告があった。学会がこれまで通りの活動を行うためには,継続してQualityをあげていくためのしくみづくりが必要という結論に至り,来期に向けて活動を開始したい旨説明があり,タスクフォースでの収入増の提案資料が示された。資料を一読いただき,アイデアや意見を寄せて欲しい旨お願いがあった。吉武理事長より,セミナー(会員外の方は有料等)の実施を早々に進めたい旨説明があった。

(3) 第 3 号議案 SDGs 検討委員会からの提言書について (SDGs 検討委員会)

榎原 SDGs 検討委員より, SDGs 検討委員会からの提言書について下記説明があった. 委員会内で SDGs 17 目標のうち 9 つの目標について, 3 つの小グループに分かれ議論を重ね, 人間工学の SDGs 目標として「SEGs(sustainable ergonomics goals) 9 goals」草案を作成した. 資料を基に, SEGs 1 から 9 について概略の説明があり, ご意見や感想を 2/25 までにいただきたい旨お願いがあった. 本草案は 3 月にまとめて, 4 月にパブリックコメントを募集する予定.

(4) 第 4 号議案 衣服人間工学部会の継続申請について (総務)

石橋総務理事より, 衣服人間工学部会の継続申請について説明があり, 承認された.

(5) 第 5 号議案 投稿規程の一部追記について (編集委員会)

榎原編集委員長より, 投稿規程【注3】に「また, 実験動物を用いた研究は各施設の動物実験指針や精神および基準等を遵守して行われたものであること。」の一文を追加したい旨説明があり, 承認された. 現在, 国際誌検討委員会でMEDLINE(PubMed)への登録を準備している過程で, 倫理的事項(動物実験)に関する記載が必要になったため.

(6) 第 6 号議案 国際誌検討委員会での審議について (国際誌検討委員会)

榎原国際誌検討委員長より, 現在委員会で検討している国際誌のビジョンについて, 忌憚のないご意見をいただき, 方向性について承認してほしい旨説明があった. 和文誌の資産を継承したハイブリッド型ジャーナル(和文誌と英文誌が混在)を作れないかと検討している. 編集委員会とも意見交換をし, 概ね賛同を得られている. オンライン化やジャーナルの名称変更についても, 案が示された. MEDLINE への登録は先行して進める.

国際誌の案について, いくつかの意見が出され, 委員会にて引き続き検討することになった. 意見内容は下記の通り. 引き続き意見があれば榎原委員長まで連絡してほしい旨お願いがあった.

- ・タイトルには日本人間工学会が発行していることが明確に分かるようにしたほうが良いのでは.
- ・海外からの投稿が増えた際の対応も検討しておいたほうが良い.

【報告事項】

(1) 総務報告

(1-1) 石橋総務理事が, 一般社団法人日本人間工学会第 58 回理事会議事録について報告した.

(1-2) 会勢報告・新入会と退会

2022 年 1 月末現在, 会員数 1,314 名(-15 名), 賛助会員 23 社 24 口(-2 口).

(1-3) メールによる審議および報告事項等の結果について(1 件)

1 件のメール審議の結果, 承認されたとの報告があった.

(2) 財務報告(1 月末)

2022 年 1 月度収支計算書(案)が提示され, 会費納入状況等の報告があった.

(3) 第 63 回大会(2022 年)準備状況報告

村田第 63 回大会長より特別講演や懇親会の予定など, 大会準備状況について報告があった. 発表申し込み締め切りは 3/28 で, まだ申し込みが少ないので積極的に申し込みしてほしい旨お願いがあった. 新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては, 現地開催が可能かの判断を, 2か月前頃(6 月初旬頃まで)に大会長を交え本部にて議論をしてほしい.

(4) 担当・委員会報告

(4-1) 広報委員会

山田委員長より、GPDB の新規登録報告があった。ERGO Directory の項目（職名）追加は実施済みで、IEA Educational Map への情報提供について今後会員へ同意を取る予定。

(4-2) 編集委員会

村木副委員長より、査読委員会を開始したことの報告があった。

(4-3) 国際協力委員会

小谷委員長より、2021 年 12 月 4 日に日韓共同シンポジウムを開催し、14 件の発表があった旨報告があった。次回の日韓共同シンポジウムは韓国にて開催。

(4-4) ISO/TC159 国内対策委員会

佐藤委員長より2月 10 日に委員会を開催し、標準化貢献賞について審議した旨報告があった。

(4-5) 表彰委員会

堀江委員長より、各表彰の準備を進めている旨報告があった。次回理事会に提出する。第63回大会の優秀研究発表奨励賞の選考は次期表彰委員会へ引き継ぐ。

(4-6) 安全人間工学委員会

狩川副委員長より、6 月 29 日～7 月 1 日安全工学シンポジウムにてシンポジウムの開催を準備中の旨報告があった。また安全に関する情報発信をニューズレターにて適時行っている。

(4-7) 学術担当

青木洋貴担当理事より、横幹連合の編集担当と産学連携に関する担当をしている旨報告があった。

(4-8) 人間工学専門家認定機構

八木機構長より 2022 年 2 月 19 日（土）に認定試験を実施し2名が受験した旨報告があった。4 月 22 日に機構総会を開催する。

(4-9) 若手支援委員会

今回は活動報告なし。

(4-10) 企業活動推進委員会

今回は活動報告なし。

若手支援委員会、企業活動推進委員会とも次期に向けて引継ぎをしてほしい旨吉武理事長よりお願いがあった。

(4-11) 人間工学戦略ロードマップ委員会

三林委員長より、現在提言の形でまとめており、次回理事会を目途に提出予定である旨報告があった。

(4-12) 国際誌検討委員会

(4-13) 子どもの ICT 活用委員会

吉武理事長より、来期に向けて新しいメンバーを募って、準備を進めている旨報告があった。

(4-14) SDGs検討委員会

(4-15) 第 8 期選挙管理委員会

山田委員長より、現在役員選挙の投票を受け付け中である旨、進捗の報告があった。

(5) 支部報告

(5-1) 北海道支部

今回は報告事項なし。

(5-2) 東北支部

事務局より代理で、3 月 5 日（土）に東北支部研究会「人間-機械系デザインから考える安全」と支部役員会を開催する予定の旨報告があった。

(5-3) 関東支部

長口支部長より 3 月 19 日に講演会を開催予定で参加者募集中の旨報告があった。

(5-4) 東海支部

斎藤支部長より、年度末に向けて支部会合を開く旨報告があった。

(5-5) 関西支部

久保支部長より、2021年12月11日に支部大会をオンライン開催し、演題20題と特別講演があった旨報告があった。3月総会後にビックデータ人間工学研究部会と共催で講演会を実施する。

(5-6) 中国・四国支部

今回は報告事項なし。

(5-7) 九州・沖縄支部

2021年12月17～18日に支部大会を沖縄県那覇市でハイブリッド開催、対面を含めた開催を実施できた。特別講演、一般演題24件、2つの企画を実施した。

(6) 協賛等の依頼

石橋総務理事より、合計16件の協賛等依頼について報告された。

(7) その他

(7-1) 今後の理事会日程について

次回第60回理事会を2022年4月から5月に開催予定で、日程については後日アンケートを実施する。

(7-2) 2022年定時社員総会資料作成について

事業報告等、事業計画等の作成依頼が届いた際には、ご対応をお願いしたい旨依頼があった。

(8) 閉会

以上の議事を終え、20時10分に閉会した。

上記の決議を明確にするため、代表理事、監事がこれに記名押印する。

2022年2月21日

代 表 理 事

吉 武 良 治^印

監 事

青 木 和 夫^印

監 事

大 須 賀 美 恵 子^印